

○議長（井上光三君）

続いて通告3番、5番 望月眞君の一般質問を行います。

5番 望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

通告にのっとり3点について質問いたします。はじめに、富士川町民俗資料館の整備についての質問です。富士川町民俗資料館、旧春米学校は、太鼓堂として親しまれ、富士川町、とりわけ増穂小学校に通った人たちにとっては、ランドマーク的存在の建造物です。1975年には県の有形文化財に指定され、後世に残していく建造物です。

そこで1の質問になります。民俗資料館の現状を見ると、雨漏り・漆喰壁や窓枠の損傷など、修繕の必要性がありますが、修繕の計画や予定があるかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの望月議員の民俗資料館の修繕の予定があるかということにお答えいたします。民俗資料館は、明治9年に春米学校校舎として建築されたもので、解体、移転の後、昭和49年に現在地に移築されてから、民俗資料館として使用され、太鼓堂の愛称で親しまれております。

また、明治初期の藤村式建築の外観を残す建物として、昭和50年に県有形文化財に指定されております。

建物の状況は老朽化が進み、瓦の落下が懸念されたことから、平成29年度に一時的な落下防止柵を設置したところではありますが、その他にも雨漏り、壁面の損傷、窓枠の腐食、基礎のゆがみなどが見受けられているところでもあります。

こうしたことから、修繕の必要性は感じておりますが、文化財に指定された建物は、文化財価値の保存と修繕の両立が難しく、修繕費用も高額になります。

修繕については、県指定文化財であることから、県文化財保護審議会の判断も必要となるため、今後、修繕方法や費用について山梨県と協議をする中で進めて参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。県内には藤村式と呼ばれる洋風建築の旧学校が5施設あり、県の文化財に指定され資料館として活用されています。私は、改めてこの施設を視察にいきましたが、いずれも文化財としての保護が課題になっています。旧睦沢学校を活用した甲府市藤村記念館は、武田神社境内から北口広場に移転さ

れましたが、この秋には外壁の改修工事が予定されているそうです。北杜市の須玉歴史資料館、旧津金学校は屋根瓦や支柱の修繕が必要になっているそうです。屋根瓦が先ほどと同じように、ずれかけている、そういう状況になっています。山梨市の牧丘郷土文化館、旧室伏学校は、屋根の葺き替えや外壁の改修工事が既になされていました。都留市の尾県郷土資料館、旧尾県学校は、県の文化財・資料課と調査をし、何回か改修工事を計画、行っているとのこと。県指定文化財ですので、先ほど課長がおっしゃったように、町独自に修繕・改修、あるいは大掛かりな改修工事はできないだろうと理解していますが、修繕・改修をしたら、県からはどのくらいの補助が得られるのかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの、県の補助金についてお答えします。県からの補助金の補助率につきましては、事業費の2分の1でありまして、県の予算の範囲内であるということを確認しているところでございます。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

2分の1といっても内容を精査、調整しながらという形になると思いますが、私も文化財・資料課建造物担当者と文化財保護支援について話をしてきました。雨漏りは建造物の損傷を加速するため最も注意すべき現象だというお話がありました。担当者も修繕の必要性を認識しているようでした。町としても、修繕・改修計画を進め、県と連携して、できるだけ早い時点での改修の実現をしていただきたいと思います。

次の質問です。民俗資料館には、町内外のたくさんの人たちが訪問しています。「道の駅ふじかわ」から回ってくる人も多いようです。管理人さんによると、トイレが遠いことに不便を感じる高齢者や女性がいるそうです。資料館近くにトイレの設置ができないかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。民俗資料館は、水曜日・日曜日及び第2土曜日が開館日で、年間の来館者数は平成30年度が1362人、令和元年度が1261人であり、町内者が全体の8割から9割を占め、滞在時間も長くない状況であります。現在、来館者へのトイレの案内は、民俗資料館と同じ敷地内にある増穂小学校グラウンドのトイレを案内し、利用いただいているところでありま

す。

こうしたことから、今後も来館者には、グラウンドのトイレを利用いただき、民俗資料館への新たなトイレの設置は考えておりません。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。須玉歴史資料館には、資料館と併設されて洋式のトイレが新しく作られていました。見学者にとっては大変便利です。牧丘郷土文化館では隣接する「道の駅 まきおか」のトイレが活用できます。さらに、文化館に、すぐ下に様式・和式一基ずつのトイレが設置されていました。尾県郷土資料館でも敷地内に様式も備えたトイレが設置されています。トイレという施設は、ある面ではとても大事な施設だと私はそんなふうを考えているのですが、課長の答弁では考えていないということでしたが、トイレの設置が不可能なら、例えば土日ぐらいは管理体制等を増穂小学校と協議して、隣接する体育館、あるいはプールをトイレとして活用できないか、その点についてお伺いします。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの隣接する体育館とプールのトイレを活用できないかということですが、現在、コロナ禍の状況の中、体育館のトイレについては日中、学校で消毒を行っております。夜間は利用者が使用後に消毒を行っているところですが、またプールのトイレにつきましては、シーズンオフ中は清掃を行っていない状況であります。こうした状況や学校施設であるため、防犯上の観点から考えますと、体育館とプールのトイレの活用は難しいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

おっしゃるとおり防犯上のこと、あるいはコロナ対策等を考えれば、現時点では難しいかなというふうに思いますが、土日ぐらい活用できないかどうか検討していただきたいと思います。

3番の質問に入ります。資料や展示物の多くは、増穂小学校の100周年記念事業の一環として、当時の教職員とPTA役員が中心となり収集し提示した物がほとんどです。現在の視点で展示室を見ると、展示スペースに対して展示物が多く乱雑感もあります。来館者にとって見学しにくいように思われます。展示物の整理とか選別とか、そういった再整備の必要性について伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの民俗資料館の展示物の再整備についてお答えをいたします。民俗資料館の展示物は1階に菴米学校時代に実際に使用されていた机や椅子で、当時の教室が再現され、2階には成績表など学業に関するものの他に、日米間の架け橋として大きな役割を果たした「青い目の人形」などが展示されております。

現在、展示されている資料の中には重複する物もあり、テーマ毎にも区分されていないことから、乱雑感があり見学しにくい部分もあります。

こうしたことから、展示物の整理は必要と考えるため、今後は、展示方法について検討を行って参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

武田神社内にあった旧睦沢学校は、甲府駅北口広場に移転されて甲府市藤村式記念館になりましたが、移転の際に展示物がかなり整備されたようです。私も山梨大学に通っているころ、武田の神社内の資料館を見たけれども、本当に乱雑に資料が置いてあったのを覚えています。現在、貴重な資料はデジタル化をして保存して残しているそうです。須玉歴史資料館も展示内容もほどよく整理されていて大変見学しやすかったです。民俗資料館の展示物を改めて閲覧すると、さっき課長がおっしゃったように、卒業証書や成績表など同じような展示物が数多く並んでいます。展示物の整理や選別を行い、焦点的に見学できるようにしたら良いと思います。

関連して4の質問です。敷地内に石橋湛山の銅像が建立されました。資料館内に石橋湛山の紹介コーナーを常設できないかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えいたします。石橋湛山氏は山梨県初の内閣総理大臣であり、7歳から3年間、増穂尋常高等小学校に在籍しておりました。平成26年に生誕130年を迎えたことから、顕彰碑設置実行委員会により、ゆかりのある昌福寺境内に石碑を、民俗資料館前の増穂小学校敷地内に胸像が建立され、胸像の台座には石橋湛山氏の功績が記されております。

こうしたことから、町としても石橋湛山氏の偉業をたたえ、後世に伝え継ぐ必要があると考えますが、町では展示できる資料を所有していないため、経歴などをパネルで紹介するコーナーを設置して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

設置する方向で検討していただくということですので、参考意見としてお聞きしていただきたいと思いますが、私は石橋湛山の年譜と旧増穂町で生活した、その辺を中心に展示コーナーを設ければいいかなと思います。甲府市の平和ミュージアム内にある石橋湛山資料館を参考にすれば容易に常設できると思います。首相就任時に提灯行列をするために増穂小学校校庭に集まった町民の写真、これはおそらく村田写真館から複写したものだと思います。それから当時の山日新聞記事等も展示されています。石橋湛山の研究者でもある浅川保理事長も資料の複写等協力を惜しまないと話しておりました。江宮隆之さんの書いた「政治的良心に従います 石橋湛山の生涯」という本がありますが、この本を読んでいくと、昌福寺で生活し増穂小学校に通っていた頃のエピソードがたくさん紹介されています。少年時代のエピソードを紹介するなど旧増穂町との関わりを中心に紹介コーナーを常設すれば良いと思います。

2番目の質問に移ります。富士川町は、多方面で活躍している優れた人材を輩出しています。また、富士川舟運の繁栄に伴い多くの著名人が訪れています。富士川町に縁のある人や資料を展示する「富士川町人物館」を設置すると良いと思います。「富士川町人物館」設置構想について伺います。

○議長（長澤健君）

教員長 野中正人君。

○教員長（野中正人君）

ただいまの富士川町人物館の設置についてのご質問に申し上げます。

富士川町にゆかりのある人物として、石橋湛山氏や女性解放運動に尽力し、山梨県の文化活動にも大きく貢献した望月百合子氏などが挙げられ、その功績を後世に伝えていくことは必要であると考えております。現在、町では令和元年度に収集した富士川舟運の資料の活用方法として、学習機会の提供を行うことができる、特色のある歴史文化施設の整備を検討しております。

こうしたことから、検討中の施設内に町にゆかりのある人物を紹介するスペースも確保して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問になりますが、人物館の構想があると理解いたしましたが、どんな人を取り上げるかというのが人物館構想では非常に大事な観点になってくると思っています。人の評価はいろいろですから、例えば、熊王徳平さん、保坂和志さん、江宮隆之さん、神永学さんというような優れた作家を本町では生み出して

ます。こうした人たちは、新設される図書館で作品と一緒に紹介できれば良いと思います。素晴らしいことを成し遂げた人はもちろんですが、例えば将棋の米長名人とか、あるいはオリンピックに出場した佐野夢加さんやJリーガーの現役として活躍した深井・柏・長谷川選手等も紹介するなどして、子ども達や若者が夢を育むような「富士川町人物館」が設置できたらよいと思いますがいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

教員長 野中正人君。

○教員長（野中正人君）

計画については検討してまいるわけでございますけれども、望月議員さんがおっしゃるように、どのような人を取り上げていくかというようなことが非常に大きな焦点になるのではないかと思います。非常に幅広い分野からの抽出というようなことも考えられますので、今後、多方面の方と検討しながら進めてまいりたいと思います。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

改めて展示館という建物を建築するのではなく、現有の施設を活用して設置すると良いと思います。

最後の質問になります。町民や町外から訪れる人が一目見れば解るような、町内全域を網羅する「富士川町文化財・資料マップ」を作成されるとよいと思います。マップの作成については本年度当初予算にも盛り込まれていますが、文化財・資料マップ作成の進ちょく状況について伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの文化財資料マップの作成の進ちょく状況ということにお答えします。富士川町には、国指定文化財が2件、県指定文化財が11件、町指定文化財が40件の計53件の指定文化財があります。平成24年には、これらの文化財の場所や説明を掲載した文化財ガイドブックを作成したところではありますが、持ち歩いて散策するには不向きであることから、本年度、持ち歩きが容易な文化財散策マップを作成することとしております。

マップについては、町の観光事業にも繋がるよう、現在、産業振興課とも連携を図り、進めているところであります。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。今課長が指摘したのはこの資料だと思いますが、やはりよくできていると思いますが、一目見てわかるような、そういうマップになっていなくて、町外の人が来た時に、例えば散策するにはちょっと不便かなというように思います。県内外の市町村では同じようなマップが作成されています。「こうふ開府500年記念事業」で作成された文化財や資料館マップを見るとQRコードを活用していてアクセスできるように工夫がされています。これですね。ご覧になった方もいると思いますが、こういったものを活用すれば、そんなに大掛かりでなくて作れるのかなというように思います。また、スタンプラリーも取り入れています。私が、藤村記念館を訪問したときにも2組の親子がスタンプを押していました。各地で作成されている同様のマップを参考にして作成したら良いと思いますがいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。現在、先ほど申しましたように、観光にもつながるというふうなことで、産業振興課とも連携を図って進めているところではありますが、マップにつきましては、できるだけ皆さんにもわかりやすく、持ち歩きやすいマップを作ってきていたいと考えます。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

富士川舟運を中心とする富士川町歴史資料館の構想も立てられています。舟運に関連した資料や遺跡も数多くあります。町民や町外から訪れる観光客が散策してみたいかなようなマップができるとよいと思います。焦って完成する必要はないと思います。十分に検討して産業振興課とも連携してというお話がありますが、町の活性化につながるようなよりよいマップを作成することを望みます。

最後の再質問をお願いします。新型コロナウイルスの影響下で、行政として当然、優先的に取り組まなければならない事業もあります。しかし、過去を未来につなげていく今を生きている私たちにとって、町の大切な財産である文化財や資料を整備して残していくことも大切なことだと思います。コロナ感染症の影響下で体育祭や富士川祭りも中止となりました。もちろん他の業務もたくさんあると思いますが、この時期を貴重な文化財や資料を後世に受け継いでいく仕事を進める契機と捉えて、教育委員会、産業振興課を中心に取り組んでほしいと思います。令和元年度富士川町教育委員会の事務の管理執行状況の点検及び評価報告書では、文化財・伝統芸能の保存伝承の課題として「引き続き舟運資料の情報収集を行う

と共に、集まった情報をもとに、資料の保存活用方法を検討していく必要がある。今後も文化財の適切な維持管理及び保護保存をしていくと共に、新たな文化財の発掘に努めることが必要である。」と提起されています。

最後に文化財や資料の保護や活用について教育長の所感を伺いたいと思います。

○議長（長澤健君）

教員長 野中正人君。

○教員長（野中正人君）

現在、富士川町には多くの文化財や遺跡、まちの歴史に係る資料等が存在しているところでございます。これらの資料は、地域の財産として保存・保護し後世へ伝えていくことが、今を生きる我々の責務であると考えているところでございます。平成31年4月に文化財保護法が改正され、国においても文化財を保存し活用する取り組みを行うようにとしたところでございます。町においても文化財の保存活用の一環として、先ほども申し上げましたけれども、富士川舟運の資料を中心とした歴史文化施設の整備を検討していくところでございます。未来を担う子どもたちが地域の歴史や文化に触れ、興味を持ち、郷土への愛着を深めることができるような展示内容を進めて参りたいと思っております。今後とも、新たな文化財の発見、また資料の収集に努めるとともに、地域の財産である文化財を保存、継承し、また、地域資源としても活用できるよう、地域の活性化にもつなげて参りたいと考えているところでございます。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

以上、終わります。

○議長（長澤健君）

以上で通告3番 5番 望月眞君の一般質問を終わります。